

## 「これからの環境」を考えるトークショー(報告)

当会では、平成18年7月11日に社団法人の設立記念講演会を開催しました。

東京ドームホテル・天空の間に集まった約250人の聴衆の前で繰り広げられた熱いトークはとても好評でしたが、本号ではその話のポイントの一部をお伝えしたいと思います。

テーマは『“環境”は“身のまわり”、“まちづくり”は“御近所づきあい”』です。リサイクルが当たり前になってきた今、「どのようなビジョンを持って、どのようなリサイクルが求められるのか」を見直す時期でもあります。そこで、次のお二人をお招きしました。

早稲田商店街の会長として環境を目玉にしたまちづくりに多くの実績を残してこられた安井潤一郎衆議院議員と、地球環境政策の最前線で指揮をとっておられる小林光環境省地球環境局長(現大臣官房長)です。

ローカル、かつ、グローバルな視点から、これからの環境問題とリサイクルのありかたを提案していただき、共に考えました。司会は当会理事の中村正子です。

＜要旨＞

### ■小林氏「グローバルな地球環境問題には、足元に解決の糸口がある」



昨今の原油の価格高騰は、アメリカのハリケーン被害で石油施設が破壊されたことも一因となっていると見る小林氏は「地球環境問題はグローバルな問題だが、足元に解決の糸口がある」が持論。

だから自らの自宅をエコハウスに建て替えて大きな省エネ効果を挙げている事例を紹介するとともに、都市は緑や生き物などの自然を有効に使う必要があると強調されました。

また、「環境税は地球に生きる使用料」であると、社内で環境税を導入している西友を例にとり、環境に取り組むだけでなく、外部へのわかりやすい情報発信も重要とリサイクル業界へのアドバイスをいただきました。



### ■安井氏「損をしないで続ければ、吸引力が生まれ成長する」

商店街から学生が半減する夏に、「環境」をテーマにしたにぎやかなイベントを10年前から毎年開催してきた。学生だけでなく、行政や企業、市民運動の人達らが協力しあって、空き缶・発泡スチロールなどのさまざまなリサイクルを相次いで展開。特に生ごみ処理機には人気が集まり、現在では完全分別した生ごみを堆肥化、これを群馬の農家に野菜を育ててもらい、週末販売をしている。反響はスタート以来広がり続け、街にいろいろなものを呼び込むこととなった。「継続は力」というが「吸引力も生む」ことを実感されているとのこと。



また、継続するためには「儲ける」のではなく「損をしない」工夫が大切とも。「環境」で最前線にいるリサイクル業界は大切な分野。民主主義は、声を合わせる事が上手な方が通るしくみゆえ、「業界も声をまとめる時にある」と、熱いエールをいただきました。

■トークショーのより詳しい内容は  
ホームページをご覧ください。

<http://www.purple.dti.ne.jp/torikyokai/new/new.html>

# ～あらゆる再生資源を適正にリサイクル～

## 東京都資源回収事業協同組合（東資協）



私たち東資協は、東京都全域の回収事業者及び加工事業者（約 220 社）で構成される組織で、昭和 23 年に設立致しました。

金属類、紙類、布類、びん・カレット類などの有用な再生資源物を、信頼できる流通経路で適正に再資源化するためのリサイクル実践業界です。

### ■さまざまな東資協の活動■

役割を終えた製品でも、資源の有効活用をするルートを持つ私たちの手を経ることで、資源の枯渇を防ぎ、ごみの大量廃棄を抑制させることができます。

#### <行政のリサイクル事業をサポート>

市区町村などと連携して資源の集団回収、委託回収や、リサイクルセンターなどの業務運営委託など行政との連携による事業をおこなっております。

#### <資源物の市中回収活動>

製紙・鉄鋼原料・非鉄金属・アルミスクラップ・びんや古繊維などを、事業所や各家庭・町内会・子供会・老人会、各ボランティア団体などの協力をいただきながら、製造メーカーに安定的に良質な原材料供給を図っています。

#### <事業所の環境活動のパートナー>

長年にわたって培ってきた専門知識を活かし、事業所の CSR 活動やリサイクル推進・ごみの減量、「ゼロ・エミッション」への取り組みのお手伝いをしております。

（※1）法 7 条、法 14 条では、専ら再生利用の目的となる廃棄物のみの収集運搬又は処分を行う既存の回収業者は廃棄物処理法の許可は不要とされています。ここでいう「専ら再生利用の目的となる廃棄物」を略して「専ら物」といい、通知（昭和 46.10.16 環整 43）の中で古紙、くず鉄（古銅等を含む）、あきびん類、古繊維の 4 種類が示されています。

### ■「専ら物」<sup>（※1）</sup>について■

下記の品目は『専ら物』と言われ、専ら再生利用に供するものとして廃棄物処理法（廃掃法）から除外されております。従ってこれらの引き取りに関しては廃棄物用のマニフェストが必要ありません。



金属類

金属部品、工業機械、スチール家具、アルミ缶、アルミ製品、鉄、銅、ステンレスなど



紙類

新聞紙、週刊誌、折込チラシ、段ボール、コピー用紙、包装紙、雑誌、文書類など



布類

衣類、反物、布地、天幕、タオル、シーツ、毛布など



びん・カレット類

一升びん、ビールびん、リターナブルびん、飲料びん、ワインなどその他の雑びんなど

（※2）東資協の上部組織の日本再生資源事業協同組合連合会（日資連）の理念に基づき、独自の選定基準を定めた再生資源回収事業者認定制度により再生資源回収事業者の信頼性を認定する制度です。

認定された事業者には認定番号が与えられ、日資連 HP に登録掲載され日資連認定の回収事業者として再生資源物を適正かつ確実に再資源化する義務と、回収した再生資源物の再資源化までの信頼性・透明性を消費者（排出者）に告知する責任が発生します。その手段として、「リサイクル化証明書」を発行することができます。

詳しくは、日資連ホームページをご覧ください。

<http://www.nisshiren.com/>

# ■再資源化（リサイクル）のルートを明らかにする■ 日資連の「再生資源回収事業者」認定制度と「リサイクル化証明書」(※2)

排出された資源物が誰の手に渡り、最終的にどう処理されたか、その行方をご確認いただける安心の証明システム。それが、日資連の「再生資源回収事業者」認定制度と「リサイクル化証明書」です。資源トレーサビリティ制度を活用ください。

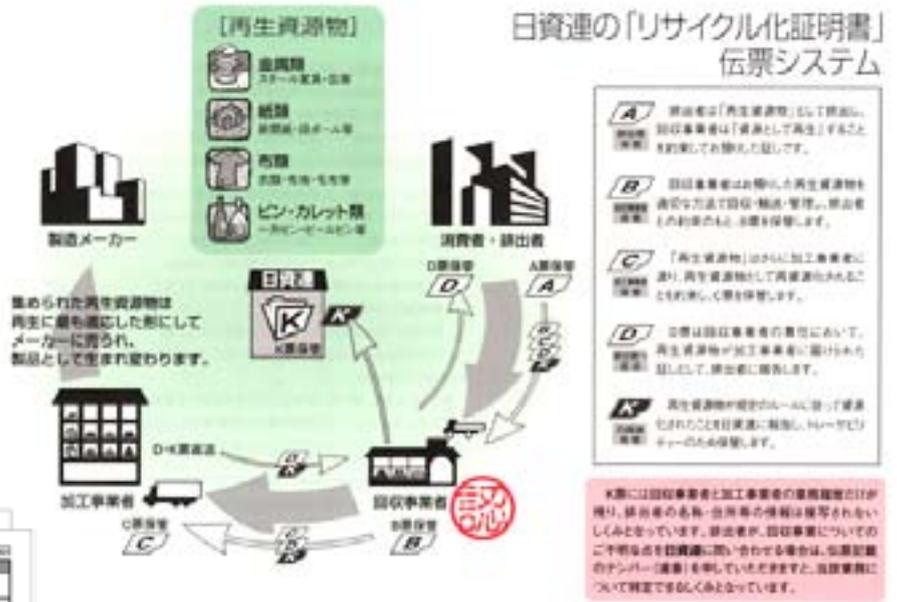


図1 日資連のリサイクル化証明書 伝票システム

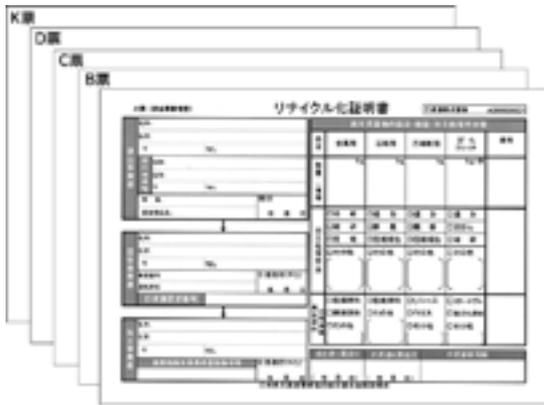


図2 リサイクル化証明書イメージ

## ✕ 中村正子のエコ点描 ✕



### ☆リサイクル・フェスタでリユースを体験

10月1日、新宿リサイクル活動センターの「リサイクル・フェスタ」に古紙問題市民活動ネットワーク（古紙ネット）として参加した。3階が「ストップ！地球温暖化」「廃プラスチック問題のアピール」などの展示スペースで、古紙ネットの展示物は布製ウォールにピンで留めた再生文具である。特に子どもたちにノートなどについているエコマークやリサイクルマークについて話す。おとなも新聞古紙100%の、色黒だが十分に役割を果たす文具に関心を示す人が多かった。1階から4階までの各フロアでは、クイズラリーや手作り体験コーナー・作品展示などが、また、参加団体によるゴミ資源化などの「ご近所ゼミナール」や中山区長をはじめスーパーモデルが登場する「リフォーム・ファッションショー」など多

彩な企画が繰り広げられた。

フェスタはセンター周辺でも盛り上がる。隣接する消費者センター前庭ではフリーマーケットや子ども向けの「まち探検ラリー」が開催され、リサイクルセンター前庭では各国留学生などが韓国、台湾、ミャンマー、日本の味覚を供した。家族連れ、大学生や子どもたちも多く、楽しい雰囲気だ。韓国ドラマ好きの私は昼食に韓国風のり巻きと甘辛いトッポギを食べた。

この食事コーナーに初めて登場したのがリユース食器である。まず、100円でプラスチック容器を借り、その容器に料理を盛りつけてもらう。食事後に食器を返すと100円が戻ってくる。300食が出たそうだが、参加者が具体的にリユースやデポジットを体験できるこの企画はいい。

老若男女、障害者も健常者も、日本人も外国人もというこのフェスタの広がりが素敵だ。(当会理事)

## 日本再生資源事業協同組合連合会

会長 紺野武郎

〒101-0061 千代田区三崎町 2-21-1 東京資源会館内  
TEL : 03-3263-9101 Fax : 03-3263-9102  
<http://www.nisshiren.com/>

## 東京都資源回収事業協同組合

理事長 新井英一

〒101-0061 千代田区三崎町 2-21-1 東京資源会館内  
TEL : 03-3263-3676 Fax : 03-3263-3679  
<http://www.toushikyo.or.jp/>

## 東京壘容器協同組合

理事長 今井一夫

〒104-0033 中央区新川 1-3-7 六甲第2ビル  
TEL : 03-3551-5238 Fax : 03-3551-5981



## 株式会社 國光

代表取締役社長 深田和利  
[古紙問屋]

〒110-0015 台東区東上野 6-2-1 信興上野ビル 5F  
TEL : 03-5828-1921 Fax : 03-5828-1920  
<http://www.kokko-eco.co.jp/>  
E-mail: info@kokko-eco.co.jp



## 井尾ガラス 株式会社

代表取締役社長 杉本洋介  
[硝子カレットリサイクル]

〒136-0082 東京都江東区新木場 4-12-4  
TEL : 03-3521-6301 Fax : 03-3521-6305



## 日高工業 株式会社

代表取締役 高橋 健  
[廃棄物処理業]

〒102-0072 千代田区飯田橋 2-12-1  
TEL : 03-3261-9731 Fax : 03-3263-1066  
<http://www.e-nikko.co.jp/>  
E-mail: info@e-nikko.co.jp



## 株式会社 共益・商会

代表取締役社長 赤染清康  
[古紙問屋]

〒140-0013 品川区南大井 6-8-11  
TEL : 03-3763-9431 Fax : 03-3763-9435  
E-mail: kyoeiki@ny.airnet.ne.jp



## 株式会社 小池商店

代表取締役 小池茂男  
[古紙問屋]

〒183-0035 府中市四谷 6-56  
TEL : 042-363-2596 Fax : 042-363-2597  
<http://www.koike-eco.co.jp/>  
E-mail: info@koike-eco.co.jp



## 株式会社 山室

取締役社長 畑 俊一  
[古紙問屋]

〒111-0041 台東区元浅草 2-2-15  
TEL : 03-3844-8191 Fax : 03-3844-8823  
<http://www.yamamuro.co.jp/>  
E-mail: mail@yamamuro.co.jp

## 青梅資源リサイクル協同組合

理事長 吉崎稔旺

〒198-0023 東京都青梅市今井 3 丁目 3-16  
TEL : 0428-33-9221 Fax : 0428-33-9222

## 株式会社 六甲

取締役社長 今井一夫

[リユースびん・新びん問屋]

〒104-0033 中央区新川 1-3-7 六甲第2ビル  
TEL : 03-3552-6551 Fax : 03-3552-6556



飲料容器のリサイクル

## 合資会社 戸部商事

代表社員 戸部 昇

〒121-0836 足立区入谷 8-10-29  
TEL : 03-3897-1156 Fax : 03-3853-1619  
<http://www.tobeshoji.co.jp/>  
E-mail: customer@tobeshoji.co.jp